

ソレイユファーマシー通信2022.1月号 コロナ・インフルエンザの違いと対策

<コロナ・インフルエンザの違い>

	新型コロナウイルス感染症	インフルエンザ
感染経路	飛沫、接触、飛沫核(空気) ^{※1}	飛沫、接触、飛沫核(空気) [※]
国内での感染者数	約11万人 (2020年11月現在、累計)	約1000万人 (例年)
症状の持続期間	2~3週間	3~7日間
致死率	0.25~3%	0.10%
季節性	今のところなし	あり(1~2月がピーク)
潜伏期間 ^{※2}	2~14日(平均5日)	1~4日(平均2日)
感染した場合の無症状率	数%~60%	10%
症状	発熱、咳、のどの痛み、倦怠感、頭痛、息切れ、嗅覚障害、味覚障害 など	発熱、咳、のどの痛み、倦怠感、頭痛、鼻水、関節痛、下痢(子どもに多い) など

※…飛沫感染・接触感染がメインだが、換気の悪い場所では空気感染が起こり得るとの情報が多い

※…潜伏期間とは感染してから症状出るまでの期間を表している

無症状率も高く、
知らずにうつしてしまうことがあるにゃ



<コロナ・インフルエンザの対策>

新型コロナの対策としては、引き続き、マスクの着用、手洗い・うがいの実施、アルコール消毒の実施、密を避ける、換気などを徹底しましょう。

新型コロナは、無症状の人からの感染が多い病気です。

「うつらない」だけでなく「うつさない」という心がけが大事です。

インフルエンザの対策としては、新型コロナの対策がそのまま使えます。

インフルエンザの感染者数は、昨年(2020年11月現在)と非常に低くなっており、これは新型コロナ対策の効果といわれている。
対策効果がしっかり出ているということにゃ

